

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学部
--------	-----

基準 1	理念・目的
------	-------

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0101	大学の基本理念・使命・教育目的を適切に設定していますか。また、それを踏まえ、学部・研究科の教育研究上の目的を適切に設定していますか。	(2) 学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的は、教育組織の特色を明確にしたものですか。	A
		(3) 学部(学科)・研究科(専攻)の育成する人間像は、明確ですか。	A
		(4) 学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的は、連関性があるものになっていますか。	A
0102	大学の基本理念・使命・教育目的および学部・研究科の教育研究上の目的を学則またはこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員および学生に周知し、社会に対して公表していますか。	(1) 学部(学科)・研究科(専攻)の目的や人間像は、適切な媒体を使って明示していますか。 ・明示媒体(例えば学生便覧とホームページなど)との記述の齟齬	A
		(2) 教職員、学生、社会に対する刊行物、ホームページ等により大学の基本理念・使命・教育目的、学部・研究科の教育研究上の目的等が周知および公表されていますか。 ・構成員(教職員および学生)への周知	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。
0101 学部・学科の教育研究上の目的および育成すべき技術者像は工学部ホームページ、学生便覧、工学部履修ガイドブックに、「あてになる技術者の育成」と定められており、その内容は大学の基本理念、使命、教育目的を反映している。[0101a] [0101b] [0101c] [0101d]
0102 教育研究上の目的および育成すべき技術者像はホームページ、学生便覧、工学部履修ガイドブック、工学部パンフレットにより、教職員および学生に周知し、社会に対して公表している。[0102a]
0101, 0102 自己点検としてホームページ、学生便覧、工学部履修ガイドブック、工学部パンフレット等の内容に関する検証、見直しを各学科会議にて実施している。[0102d]

長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0101	都市建設工学科、建築学科、応用化学科でJABEE 基準に照らした自己点検・評価を実施。
項目 No. 0102	同上。
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0102	大学の基本理念・使命・教育目的と学部・学科の特色、指導方針及び学習・教育到達目標との関連性をよりわかり易く周知する必要がある。
項目 No.	

### 3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0101	ホームページ、学生便覧、履修ハンドブック、工学部パンフレットの点検、見直し。
0102	学期毎のオリエンテーション等における学生への継続的な周知の推進。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
No. 0102	大学の基本理念・使命・教育目的と学部・学科の特色、指導方針及び学習・教育到達目標との関連性についてによりわかり易い周知と、学期毎のオリエンテーション等における学生への継続的な周知の推進。

### 4. 根拠資料

根拠資料 No.		提出区分	
項目 No.	記号		
0101	a	大学HP <a href="https://www3.chubu.ac.jp/about/philosophy/">https://www3.chubu.ac.jp/about/philosophy/</a>	A
0101	b	学部ホームページ <a href="https://adm.chubu.ac.jp/academics/engineering/">https://adm.chubu.ac.jp/academics/engineering/</a>	A
0101	c	学生便覧(2018) 抜粋	A
0101	d	工学部履修ガイドブック 抜粋	A
0102	a	工学部パンフレット 抜粋	A
0102	c	各学科会議議事録	B

提出区分 … A: 本シートと一緒に提出する資料 B: 現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学部
--------	-----

基準 2	内部質保証
------	-------

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0203	方針および手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能していますか。	(4)外部評価（学内内部評価を含む）を自己点検・評価に取り入れていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0203	都市建設工学科での「外部評価委員会」、応用化学科での「アドバイザーボード会議」などの外部評価に加え、非常勤講師との懇談会、卒業生・就職先企業へのアンケート等を通じて、内部質保証システムを構築するとともに、教育改善システムに反映している。[0203a] [0203b] [0203c]
0203	都市建設工学科、建築学科、応用化学科では、外部評価として JABEE による技術者教育プログラムの認定を受けており、2018 年度に継続審査を受審し、認定を受けた。 [0203d] [0203e] [0203f]。
0203	学部・学科において、2018 年度に大学の自己点検・評価に関する規定に基づき自己点検を行っている [0203g]
長所・特色 <箇条書き> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0203	(都市建設工学科)外部評価委員会の開催
項目 No. 0203	(都市建設工学科)卒業生・就職先企業へのアンケート
項目 No. 0203	(応用化学科)学科独自のアドバイザーボード会議開催
課題事項 <箇条書き> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0203	JABEE 認定学科のみならず、全学科における内部質保証システムの構築。

### 3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0203	都市建設工学科、建築学科、応用化学科では、JABEEによる技術者教育プログラムの認定を受けることにより、教育システムの自己点検評価を行った[0203c] [0203d] [0203e]。
0203	この自己点検・評価業務がまさに改善の取り組みであり、ピアレビュー委員会において、組織単位の評価を受けることとなる。評価結果を受けて、改善策を策定し、実施する予定である。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0203	全学科における内部質保障システムの確立と教育改善システムの継続的な実施
0203	学部・学科での定期的、継続的な自己点検・評価の実施とそれに基づくPDCAサイクルの運用

### 4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0203	a	(都市建設工学科)外部評価委員会議事録	B
0203	b	(都市建設工学科)卒業生・就職先企業へのアンケート	B
0203	c	(応用化学科)2018 JABEE 受審（文章編）応用化学スペシャリストコース	B
0203	d	(都市建設工学科)審査結果 日本技術者教育認定機構	B
0203	e	(建築学科)審査結果 日本技術者教育認定機構	B
0203	f	(応用化学科)審査結果 日本技術者教育認定機構	B
0203	g	中部大学の自己点検・評価 情報公表	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学部
--------	-----

基準 4 教育課程・学習成果（1）

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0401	授与する学位ごとに、卒業認定・学位授与の方針（DP）を定めて、公表していますか。	(1) 課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した卒業認定・学位授与方針（DP）の適切な設定を行い、公表をしていますか。 ・当該学位にふさわしい学習成果の設定 ・卒業認定・学位授与方針（DP）の設定	A
0402	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針（CP）を定めて、公表していますか。	(1) 学位ごとに、教育課程の体系、教育内容を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	A
		(2) 学位ごとに、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	A
		(3) 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を社会に対し、公表していますか。	A
		(4) 卒業認定・学位授与の方針（DP）と教育課程編成・実施の方針（CP）は適切な連関性となっていますか。 ・「卒業認定・学位授与の方針（DP）」⇔「教育課程の編成・実施方針（CP）」との整合	A
0403	教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(1) 教育課程の編成・実施方針（CP）と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2) 教育課程の編成にあたっての順次性および体系性への配慮をしていますか。（ナンバリング、カリキュラムマップ）	A
		(3) 単位制度の趣旨に沿った単位の設定をしていますか。	A
		(4) 個々の授業科目の内容および方法は適していますか。	A
		(5) 授業科目の位置づけ（必修、選択等）は適切ですか。	A

0403	教育課程の編成・実施方針（CP）に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(6) 各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 【学士課程】 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 【修士課程、博士課程】 コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(7) 学生の社会的および職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A

## 2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

EM

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0401	卒業認定・学位授与の方針（DP）には、指導方針や養成する人物像が明記されており、各学科における学科会議にて検討した後、学部長、副学部長、学部長補佐および各学科主任、主任補佐により構成される主任会にて学部内整合性等を更に検討し、検討結果を学部教授会に戻して教員の賛同を得た上で大学協議会等の大学全体レベルでの会議にて学部間整合性を検討した上で最終決定し、最終案について再度学部教授会にて確認して大学ホームページに公開している [0401a, b, c]。
0402	教育課程の編成・実施方針（CP）には、教育内容、方法、評価法などが明記されており、各学科における学科会議にて検討した後、学部長、副学部長、学部長補佐および各学科主任、主任補佐により構成される主任会にて学部内整合性等を更に検討し、検討結果を学部教授会に戻して教員の賛同を得た上で大学協議会等の大学全体レベルでの会議にて学部間整合性を検討した上で最終決定し、最終案について再度学部教授会にて確認して大学ホームページに公開している [0401a, b, c]。
0403	DP を達成するため、履修要項には、科目概要、単位制、履修申告、履修上限などについて明記されている [0401a, b]。科目間の関連や科目内容の難易度を表現するナンバリング [0403a] を行うとともにカリキュラムマップ（教育課程系統図）によってカリキュラムの体系やコースの意味を明確にしている。カリキュラムマップにあるように、全学共通教育科目、工学部共通教育科目、各学科専門教育科目を体系的に編成し、専門基礎科目を低学年に配置し、高大接続に配慮している。また、講義や学生が主体的に行う演習、実験、実習、製図等を適切に組み合わせた授業を実施している。実学も重視し、国内外の建築物や企業現場の見学や企業と連携し学内外で行う実習を設けている学科もある。カリキュラムの適切性は各学科会議で検討され、変更が必要な場合は工学部教務委員会で審議されている [0403b]。いくつかの学科においては、外部評価（JABEE）審査を受審しており、自己点検・評価が適切であることが確認される仕組みとなっている [0403c]。
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0403	専門科目区分として「応用化学基礎科目（必修）」が設定され、高大接続が適切に図られている [0401a, b]。
項目 No. 0403	企業と連携して教育にあたる「創成実習」が開講され、社会的、職業的自立を図る機会が設けられている [0401a, b]。
項目 No. 0403	学習相談室に学科教員を配置し、教育補助・支援を行っている [0403d]。
項目 No. 0403	電気電子創成工学を4講義配置し、プロジェクトラーニングによる教育を強化 [0401a, b]。
項目 No. 0403	必修の「工場見学」、「工場実習」を設けている [0401a, b]。

課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0401, 0402, 0403	DP, CP の定期的、継続的な見直しと、それに基づく適切な教育プログラム、カリキュラムの改善。

### 3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0403	各学科会議、工学部教務委員会で教育プログラムの改善に関する取り組みを行っている[0403b]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0403	部門創成 A などの創成科目の実施体制の強化。
0403	退学者数の減少を目指し、必要な見直しの検討を始める。

### 4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0401	a	学生便覧	A
0401	b	工学部履修ガイドブック	A
0401	c	中部大学ホームページトップの「情報公表」バナーより情報公開ページにて公開	A
0403	a	科目ナンバリング表	A
0403	b	工学部教務委員会議事録	A
0403	c	2018 JABEE 受審（文章編）応用化学スペシャリストコース(EK)	B
0403	d	学習支援室案内(EU)	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料    B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学部
--------	-----

基準 4 教育課程・学習成果（2）

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0404	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じていますか。	(1) 各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るため、1年間または学期ごとの履修登録単位数の上限設定等の措置を講じていますか。	A
		(2) シラバスに次の内容を組み込んでいますか。また、授業はシラバスどおりに行われていますか。 ・授業の目的、達成目標、学習成果の指標、授業内容および方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法および基準等の明示 ・授業内容とシラバスとの整合性の確保	A
		(3) 学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容および授業方法を講じていますか。	A
		(4) 授業の編成および管理運営は適切に行っていますか。 【学士課程】 ・授業形態に配慮した1授業あたりの受講者数になるように授業の編成を行っていますか。 ・履修指導等のガイダンスは適切に実施していますか。 【修士課程、博士課程】 ・研究指導計画(研究指導の内容および方法、年間スケジュール)を明示していますか。また計画に基づく研究指導を行うように取り組んでいますか。	A
0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(1) シラバスに掲げている「達成目標」に基づき、成績評価がなされていますか。 ・シラバス記載の「達成目標」「成績評価方法」に基づく成績評価	A
		(2) 既修得単位の認定は、明確な定めに基づき適切に行われていますか。 ・規程等に基づく単位認定のプロセス	A
		(3) 成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認していますか。	B



0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(4) 卒業・修了要件を明確に定めていますか。	A
		(5) 学位論文審査がある場合、学位論文審査基準が明確に示されていますか。	A
		(6) 学位審査および修了認定の客観性および厳格性を確保するためにどのような措置を施していますか。	A
		(7) 学位授与に係る責任体制および手続は明確に示されていますか。	A
		(8) 適切な学位授与を行っていますか。	A

## 2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0404	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に履修単位数の上限を設けている[0404a, b]。学生が無理な履修計画をしないように進級要件が規定されており、一年次の春学期は学科で指定した科目を履修する[0404c]。本学の履修申告のオンラインシステムでは規定から外れた申請が受け付けられないようになっており、規定の遵守が担保されている[0404d]。</li> <li>シラバスには「授業の趣旨」、「具体的達成目標」、「授業計画」、「授業方法」、「成績の評価方法」、「成績の評価基準」が必須項目として記載されており、「授業計画」は授業の各回の具体的内容と予習・復習の指示を含んでいる[0404e]。毎年度末に第3者によるシラバスのピアレビューにより内容の確認、必要に応じて改訂を行っている[0404f]。シラバスどおり授業が行われていることを学期末に学科会議で確認している学科もある。</li> <li>各学科において、「スタートアップセミナー」、「実験」、「演習」等、実験、実習の実施、報告書作成、発表、討論等を通して学生の主体的な参加を重視した授業が用意されている[0404a, b]。</li> <li>「実験」や、「スタートアップセミナー」のグループワーク等は10名程度以下の少人数で実施している。専門科目においても複数クラスで開講し、比較的少人数で実施している科目が多い[0404e]。複数クラスで開催する場合習熟度別にする場合もある[0404b]。</li> <li>各学期の開始前には学年毎の履修のオリエンテーション・履修相談を行っている[0404g, h]。また成績不良の学生に対して、個別の面談・履修相談を実施している[0404i]。</li> <li>魅力ある授業づくりへの取り組みとして、「学生による授業評価」、「教員による授業自己評価」を実施し、授業の点検評価と改善に取り組んでいる[0404j]。</li> <li>定期的開催されている、FDフォーラム・講演会に積極的に参加を促している[0404k]。</li> <li>各学科において教務委員を選出し、シラバスをはじめとする教務事項について検討する学部教務委員会を概ね毎月開催している[0404l]。</li> </ul>
0405	<ul style="list-style-type: none"> <li>シラバス[0404e]に明記された方法で成績評価を実施している。学科の学習・教育到達目標に対応した評価方法および評価基準をシラバスに適切に反映させて、科目ごとに評価を実施している。学科のすべての専門科目において「学修達成度評価アンケート」を学期末に行い、学生の授業達成状況や、学生からの授業に対する意見を聴取する機会があり、結果が教員にフィードバックされて改善できる仕組みが確立されている[0404j]。一部の学科においては、これらのことは、外部評価（JABEE）審査により、適切におこなわれていることが確認される仕組みとなっている。</li> <li>成績評価・単位認定は各教員が厳格に実施しているが、組織的客観性と持って相互にチェックはおこなっていない。この点は課題である。</li> <li>資格保持者に対する単位認定は規定[0404a]に照らして行われている。編入学者に対する単位の読み替えは規定</li> </ul>

<p>[0404a]に照らしておこなわれている。単位制度については学生便覧に記載して明示している[0404a]。また、オハイオ大学長期研修プログラム参加者の単位認定に関しても規定に照らして行われている[0405a]。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 学生の成績は指導教員には開示される。成績評価の基準は、ホームページに明示されている[0404j]。成績評価、単位認定および学位授与は、最終的に工学部教授会において、他学科の教員からも審査がなされることにより客観性・厳格性を確保している[0405b]。期末試験等の答えは学科のJABEE準備室に保管し学科の教員が随時閲覧できるようにし透明性を保つ努力をしている[0405c]学科もある。</li> <li>• 卒業要件は明確に規定している[0404a, b]。</li> <li>• 卒業論文の審査基準はルーブリック等で明確に規定している学科もある[0405d]。</li> <li>• 卒業研究に関しては、多くの学科では、発表会を開催し、複数の教員で内容を審査する。発表会の一部を除き公開であり、透明性・客観性も担保している[0405e]。卒業論文の成績評価報告は指導教員による成績評価(案)を学科主任がとりまとめ、学科教員全体に開示し報告前に意見を申し立てることができる仕組みを取り公平性・客観性を担保する努力をしている[0405f]。卒業研究の中間審査を行っている学科もある。</li> <li>• 卒業認定に関しては、各学生の取得単位を各学科の教室会議で確認した後、工学部の教授会において卒業認定が審議される[0405c]。</li> <li>• 中部大学学位規定に基づいて学位授与を行っている[0404a]。</li> </ul>	
<p>長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの</p>	
項目 No. 0404	外部評価(JABEE) 審査による、自己点検の適切性確認[0404m]。(EK)
項目 No. 0404	入学直後から電気電子に関わる機器に触れさせる講義内容を展開[0404e](EL)
項目 No. 0404	3年次からの研究室配属と「情報工学ゼミナール」による少人数教育の実施[0404n](EP)
項目 No. 0405	1泊2日で恵那にて卒業研究について発表会を実施[0405g]。(EE)
項目 No. 0405	各学期のはじめの学生による目標達成度の確認[0405h]。(EC)
項目 No. 0405	学科のすべての専門科目において、独自の「学修達成度評価アンケート」を実施[0404m]。(EK)
項目 No. 0405	学科全体で実施する公開の卒論発表会と副査(コメンテータ)の導入[0405i](EP)
項目 No. 0405	年度末に卒業判定に関する(工学部)教授会を開催し、他学科教員からも審査を受けている[0405c]。
<p>課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点</p>	
項目 No. 0404	学科定員増に対応した少人数教育の実施体制の確保
項目 No. 0405	単位の組織的客観性を持った認定方法(EE)(EL)
項目 No. 0405	卒業研究評価に対する基準の明文化(EE)
項目 No. 0404	工学部共通科目、全学共通科目に関するシラバスの内容の調整(EC)
項目 No. 0405	シラバスに記載の評価方法を遵守していることの組織的確認体制が不十分
項目 No. 0405	成績評価の客観性の組織的確認体制が全部の授業には行き渡っていない
項目 No. 0405	学生による授業アンケートにおいて、十分な人数の学生から回答が得られていない
項目 No. 0405	複数教員による授業の整合性と試験および評価の均一化(EE)
項目 No. 0405	個々の授業科目の内容および方法に対する評価法の構築(EL)

### 3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果(【留意点】等)への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

<p>対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない</p>	
404	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FD講演会等のFD活動への積極的参加[0404k]。</li> <li>• シラバスと実際の授業の整合性は、学期末毎に大学全体で実施の受講生へのアンケート調査により行われることになった[0404k]。</li> <li>• 学期末にシラバスの第三者点検を行い、授業内容とシラバスとの整合性を確保、および評価方法の客観性・厳格性を確認している[0404f]。</li> <li>• これまで一部のシラバスに必要な記載が不足しているなどの問題があったので受講者の視点からみてよりの確</li> </ul>

な情報を提供できるシラバスを目指して、学科教員全員によるシラバスのピアレビューを実施し記載内容の改善に取り組んでいる[0404f]。(EP)

- 授業改善のための学生懇談会において学生意見が寄せられ、外部評価委員会においても指摘をいただいた建築デザイン科目について、より少人数のエスキス指導ができるように非常勤講師を複数名増加採用するよう要望し、2018年度において一部科目で認められた。(EA)
- 学科の定員増に対応した少人数教育を実現するために、スタートアップセミナーの担当教員を3名から4名へ増強した (EC)。

0405

- 卒業研究の年2回の発表会開催[0405i]。(EE)
- 以前には卒業研究の合格者の成績の評定 (S, A, B, C) に研究室毎のばらつきがみられることが問題となっていた。そこで、評定 (案) を学科全教員に開示しより客観的、公平な評価をするように取り組んでいる。(EP)

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策 (到達目標を含む)
0404	工学部共通科目、全学共通科目に関するシラバスの内容の調整
0404	学科教員による無作為な授業参観実施による授業内容とシラバスの整合性の組織的チェックをおこなう体制の導入(EP)
0404	建築デザイン科目について、より少人数のエスキス指導ができるように非常勤講師を複数名増加採用するよう継続して要望していく (EA)。
0405	シラバスのピアレビュー時に期末試験の実施状況も併せてチェックする体制の導入(EP)

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0404	a	学生便覧	A
0404	b	工学部履修ガイドブック	A
0404	c	指定科目	A
0404	d	Tora-Net Portal を利用するために	A
0404	e	シラバス	A
0404	f	シラバスの第三者点検依頼	A
0404	i	成績不振学生との面談依頼文書	B
0404	j	魅力ある授業づくりのために・中部大学の取り組み	A
0404	k	FD 委員会資料	B
0404	l	工学部教務委員会議事録	A
0404	m	2018 JABEE 受審 (文章編) 応用化学スペシャリストコース(EK)	B
0404	n	2018 年度ゼミナール配属説明会の案内メール(EP)	B
0405	a	オハイオ大学長期研修プログラム単位認定	B
0405	b	工学部教授会議事録	A
0405	c	情報工学科 JABEE 準備室保存答案(EP)	B
0405	d	卒論発表ルーブリック (EC)	B
0405	e	卒論発表会プログラム (EC)	B
0405	f	卒論成績回覧文書	B
0405	g	EE 会議議事録 20180925 p.2 第 12 項	B
0405	h	学習・教育達成度確認票(EC)	B

提出区分 … A: 本シートと一緒に提出する資料 B: 現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学部
--------	-----

**基準 4 教育課程・学習成果（3）**

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0406	卒業認定・学位授与方針 (DP) に明示した学生の学習成果を適切に把握および評価をしていますか。	(1) 学生の学習成果を測るための指標を定め、成果を確認していますか。 ・学習成果を測るための評価方法や評価指標	B
		(2) 成績分布、試験放棄（登録と受験の差）、進級などの実績を学部・学科として把握していますか。 ・学習成果に関する情報の把握と共有	B
		(3) 学習成果を把握および評価するために、どのような方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ループリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	B
0407	教育課程およびその内容、方法の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1) 適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	B
		(2) 自己点検・評価結果に基づく改善・向上に取り組んでいますか。 ・年度重点目標の設定	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。
0406 <ul style="list-style-type: none"> <li>学生の学習成果は、100 点満点、S, A, B, C 等、GPA などの指標により点数化される。教員は所属学科の学生の各科目の成績 (S, A, B, C 等) と全科目平均の GPA は、確認することができるシステムになっている [406a]。</li> <li>進級状況に関しては、年度末の学科会議、および教授会の資料により確認・把握している [0406b]。卒業研究に関</li> </ul>

しては、発表会を開催し、学修の効果を把握している[0406c]。指導教員による個人面談を実施して学生の状況を把握、指導する仕組みが確立されている学科もある。[0406d]

- シラバスに各科目における、期末テスト、宿題、授業態度等の評価対象と、全体の評価に対するその割合等を記載し[0406e]、その基準に基づき評価を行っている。多くの科目で行う期末テストは正誤が明確で点数化が容易にできる。卒業研究等の点数化に個人差が出やすい科目においてはルーブリックを定めている学科もある[0406f]。卒業生に対するアンケート（卒業時アンケート）を実施し、結果を教室会議で報告・共有している学科もある[0406d]。

0407

- 教育課程およびその内容、方法は学科会議でその時代の要請に沿う方向で適切に改正している[0407a]。「学生による授業評価」「教員による授業自己評価」を実施し、授業の点検評価と改善に取り組んでいる[0407b]。学科会議のもとに、カリキュラム検討委員会、教育支援検討委員会を設けて、毎年度、PDCA サイクルを回す教育改善システムを設定しており、継続的な自己点検・評価を実施している学科もある[0406f]。
- JABEE 認定は、自己点検と改善を行うことが前提となっており、JABEE 認定を受けている都市建設工学科、建築学科。応用化学科では、そうした仕組みが確立されている。また、アドバイザーボード会議も、評価・改善の仕組みの一つである。[0406f、0407c]
- 各教員が毎年度初頭に「教育活動重点目標・自己評価シート」を提出して当該年度の重点目標を設定し、これを学部長・学長が点検する。また、年度終わりに同シートに自己評価を記して提出し、これを学部長・学長が点検する[0407d]。
- 教育課程の変更や、教育課程変更後の具体的実施方法については、学科会議で起案し、学科内のカリキュラム検討会議で具体案を検討し、学科会議でその案について審議を行うという手順で進めている。[0407e]

長所・特色 <<箇条書き>> \*先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの

項目 No. 0406	卒業研究の発表会資料を冊子として製本している[0406g] (EE)
項目 No. 0406	卒業研究・創成科目におけるルーブリック評価の導入[0406f] (EC)
項目 No. 0406	継続的な教育改善システムの実施[0406f] (EC)
項目 No. 0406	学科独自のポートフォリオを作成し、学期ごとにすべての学生に対して各指導教員が個人面談を実施し、状況把握を行っている[0406d] (EK)
項目 No. 0407	「教育活動重点目標・自己評価シート」により自己目標の設定や自己評価をおこなっている[0407e]。
項目 No. 0407	教育活動顕彰制度を設けており、教員間のみならず学生からの評価も含めている[0407f]。
項目 No. 0407	学生による授業アンケートをおこない、集計結果を各教員に提示すると共に学生からの意見に対する教員からの返答を公開している[0407b]
項目 No. 0407	学科独自の卒業時アンケートの実施[0406d] (EK)

課題事項 <<箇条書き>> \*改善すべき点、向上すべき点

項目 No. 406	学習成果の把握についてはGPA 以外の方法が無く、アセスメント・テストや学習成果の測定を目的とした学生調査、卒業生、就職先への意見聴取を実施すべきである。(EM)
項目 No. 0406	ルーブリック評価の実施状況の点検と評価方法の継続的な見直し (EC)
項目 No. 0406	学習成果を客観的に測定するシステムの構築 (EL)
項目 No. 0407	教育改善システムの円滑な実施のための教員間の連絡調整の恒常化 (EC)
項目 No. 0407	工学部の重点目標設定に基づく学科重点目標を設定する。(EL)

### 3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
0407	2018年度のJABEE認定時の指摘を踏まえた目標の確認方法の見直し、教員間の連絡調整の恒常化等について、カリキュラム検討委員会、教育支援検討委員会で検討を行なっている。(EC) 2018年度にJABEEによるプログラム継続認定審査を受審し、結果として継続認定がなされた。[0407c](EK)

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0406	アセスメント・テストの実施方法などを検討していく。(EM)
0406	ルーブリック評価の実施状況を踏まえた継続的な見直し(EC)
0407	教育改善システムの円滑な実施のための教員間の連絡調整の恒常化(EC)

### 4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0406	a	TORA-NET Portal	A
0406	b	2018年度 第13回学科会議 議事録(EM)	B
0406	c	平成30年度中間発表会タイムスケジュール	B
0406	d	2018 JABEE 受審（文章編）応用化学スペシャリストコース	B
0406	e	シラバス	A
0406	f	卒業研究・部門創成A及びBのルーブリック評価の導入(EC)	B
0406	g	平成30年度 中部大学工学部電気システム工学科 卒業研究中間発表会 予稿集(EE)	B
0407	a	学生便覧	A
0407	b	魅力ある授業づくりのために・中部大学の取り組み	A
0407	c	審査結果 日本技術者教育認定機構	B
0407	d	教育活動重点目標・自己評価シート	A
0407	e	2018年度第1回カリキュラム検討会議議事録(EM)	B
0407	f	教育活動顕彰制度	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学部
--------	-----

基準 5	学生の受け入れ
------	---------

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0501	入学者受入れの方針(AP) を定めて、公表していますか。	(1) 卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえた方針となっていますか。	A
		(2) 明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。 ・入試要項とホームページ等の媒体間の記述の統一	A
		(3) 社会に対し公表していますか。	A
		(4) 下記内容を踏まえた入学者受入れの方針(AP) の設定となっていますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	C
0502	入学者受入れの方針(AP) に基づき、学生募集および入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施していますか。	(1) 入学者受入れの方針(AP) と入試形態は整合していますか。 ・求める学生像と入試形態との整合	A
		(2) 入学者受入れの方針(AP) に基づき、大学教育を受けるための能力・適性等を判定できる入学者選抜の方法を採用していますか。 ・教育課程の編成・実施方針 (CP) と学生募集方法、入学者選抜方法の連関 ・入学者選抜において透明性を確保するための措置	A
		(3) 入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備はなされていますか。	A
		(4) 公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(5) 入学希望者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A

0503	適切な定員を設定し、入学者の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していますか。	(1) 入学定員および収容定員の適切な設定と在籍学生数を管理していますか。 【学士課程】 ・ 入学定員に対する入学者数比率 ・ 編入学定員に対する編入学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率 ・ 収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応 【修士課程、博士課程】 ・ 収容定員に対する在籍学生数比率	B
0504	学生募集および入学者選抜は、入学者受入れの方針(AP)に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っていますか。	(1) 学生募集や入学者選抜方法の適切性について検証していますか。 ・ 学部内委員会等において根拠資料に基づいた定期的な検証	B
		(2) 自己点検・評価結果に基づいた改善・向上を行っていますか。 ・ 年度重点目標の設定	B

## 2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0501	DP、CPを踏まえたAPを設定し、大学のHP、工学部パンフレット、入学案内に公表しているが、入学希望者に求める能力水準までは定めていない。[0501a] [0501b] [0501c]
0502	学生募集および入学者選抜の制度については、入試要項を定め、工学部入学者選抜委員会、全学の入学者選抜会議で、透明かつ公正な選抜が実施されている。ただし、APと入試形態の整合性、CPと学生募集方法、入学者選抜方法の連関性は必ずしも明確でない。[0502a] [0502b]
0503	定員設定を行い、定員管理がなされているが、収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応には改善すべき点が残されている。[0502b]
0504	学生募集および入学者選抜に関する検証、改善に取り組んでいるが、さらに改善すべき点がある。[0502b]
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0504	推薦入試において、APに基づく人材確保のための選考基準の見直しを実施。
項目 No. 0504	数学のフレッシュマンテストにおいて入試種別ごとの得点分布を検証し、学生募集戦略、選考基準の見直しに反映している。
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0501	入学希望者に求める能力水準も含めたAPの検討。
項目 No. 0502	APと入試形態の整合性、CPと学生募集方法、入学者選抜方法の連関性に関する明確化。
項目 No. 0503	収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応策
項目 No. 0504	受験生及び社会ニーズの動向を踏まえた学生募集および入学者選抜に関する検証、改善。



### 3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
0502	各種入試制度とその入試要項の確認と見直し、公正な入試選抜の実施、および定員管理について入学センター会議、入学者選抜委員会での検討を行っている[0502a]、[0502b]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0501	各学科における入学希望者に求める能力水準の検討。
0502	AP と入試形態の整合性、CP と学生募集方法、入学者選抜方法の連関性に関する検討とその明示。
0503	収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応策の検討と実施。
0504	受験生及び社会ニーズの動向を踏まえた学生募集および入学者選抜に関する継続的な検証と改善。

### 4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0501	a	中部大学HP <a href="https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/">https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/</a>	A
0501	b	工学部パンフレット	A
0501	c	入学ガイド	A
0502	a	中部大学HP受験生サイト <a href="https://adm.chubu.ac.jp/entrance_exams/">https://adm.chubu.ac.jp/entrance_exams/</a>	A
0502	b	工学部入試選抜委員会議事録	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学部
--------	-----

基準 6 教員・教員組織

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0602	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制していますか。	(1) 大学全体および学部・研究科等ごとの専任教員数は、適切ですか。	B
		(2) 教育理念・目的を実現できる教員組織を編制していますか。(方針等に基づく組織編制の明確化) ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師または助教)の適正な配置 ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	B
		(3) 学士課程における教養教育の運営体制を整備していますか。	A
0603	教員の募集・採用・昇格等を適切に行っていますか。	(1) 教員人事関連規程が整備され、適切な手続きによる運用をしていますか。 ・教員の募集・採用・昇格等に関する規程の整備および手続きの設定	A
		(2) 規程等に従った適切な教員人事(募集、採用、昇任等)を実施していますか。	A
0604	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上および教員組織の改善・向上につなげていますか。	(1) FD活動を組織的に実施していますか。	B
		(2) 点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B
0605	教員組織の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1) 適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を実施していますか。	B
		(2) 自己点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B

## 2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0602 人事審議会での資格審査を通じて、適切な専任教員数の確保、教育理念・目的を実現できる教員組織の編制に努めているが、改善点もある。[0602a]	
0603 教員人事関連規程が整備され、適切な手続きによる運用が行われているが、教員人事の適切性に関して改善の余地がある[0602a] [0603a]。	
0604 FDを実施し、点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っているが、改善点もある。[0604a]	
0605 教員組織の適切性についての自己点検・評価に取り組んでいるが、その成果が改善に必ずしも結びついていない[0605a] [0605b]。	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0603	昇格に関する評価基準を、研究業績、教育業績等に関してポイント化し明確にしている。
項目 No.	
課題事項 《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 0602	教育理念・目的を実現できる教員組織に関する点検と改善。
項目 No. 0603	教員人事の適切性に関して、募集、採用段階での透明性、公平性の確保。
項目 No. 0604	FDの点検・評価結果に基づく教員の資質向上の取り組み。
項目 No. 0605	教員組織の適切性についての定期的な自己点検・評価と改善の取り組み。

## 3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0605 工学部主任会、各学科会議において、教員組織の編制、教員組織と教員人事、FD活動等について点検と検討を行っている[0605a] [0605b]。	

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）	
0602	教育理念・目的を実現できる教員組織に関する継続的な点検、検討と改善。	
0603	教員人事の適切性に関して、募集、採用段階での透明性、公平性の確保を図る。	
0604	FD活動の活発化とその点検・評価結果に基づく教員の資質向上の取り組みを推進。	
0605	教員組織の適切性についての自己点検・評価と、それに基づく改善策の検討。	

## 4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0602	a	人事審議会資料	B
0603	a	教育職員の人事の手続に関する細則	A
0604	a	工学部FD委員会議事録	A
0605	a	工学部主任会議事録	A
0605	b	各学科会議議事録	B

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学部
--------	-----

基準7	学生支援
-----	------

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0702	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備していますか。また、学生支援は適切に行っていますか。	(2) 学生の修学に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の能力に応じた補習教育、補充教育</li> <li>・正課外教育</li> <li>・留学生等の多様な学生に対する修学支援</li> <li>・障がいのある学生に対する修学支援</li> <li>・成績不振の学生の状況把握と指導</li> <li>・留年者および休学者の状況把握と対応</li> <li>・退学希望者の状況把握と対応</li> </ul>	B
		(4) 学生の生活に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の相談に応じる体制の整備</li> <li>・ハラスメント防止のための体制の整備および啓発活動</li> <li>・心身の健康維持・増進および安全への取り組み</li> <li>・生活支援面において、方針の目的（安全で安定した学生生活を送るための基盤整備等）の支援</li> </ul>	A
		(5) 学生の進路に関する適切な支援を実施していますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生のキャリア支援を行うための体制（学部との協力・連携を含む）の整備</li> <li>・進路選択に関わる支援やガイダンスの実施</li> <li>・キャリア支援講座などの実施</li> </ul>	A
		(6) インターンシップは十分に実施していますか。	B
		(8) 学生の要望に対応した学生支援を適切に実施していますか。 キャリア支援、保健管理、スポーツおよび文化活動の強化	B

## 2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。
0702 学年ごとの指導教授制、キャリア・就職担当教員、インターンシップ担当教員において、学生の生活・進路に関する適切な支援を行うとともに、各学期はじめの学年別の個人面談、成績不審者・退学希望者・休学者の把握・指導を実施している [0702a]。また、1年次、3年次に学生が将来目標を設定するようにし、学習支援、就職指導に反映している [0702b]。
0702 (2) (4) (5) PSHの時間帯を利用し、教員が輪番制で学生の教育、生活支援を積極的に行っている。その結果に関する情報は学科会議で共有を図る体制をとっている。(5) 3年生の秋学期に就職ガイダンスを実施している。(6) インターンシップA、Bを開講している。(8) 学科公認の同好会を設置し、顧問教員の指導のもと自由な発想で資格支援、技術スキル涵養の機会を提供している。(8) 電気工事士取得のための講座を開講している。 [0702c] [0702d] [0702e] [0702f] [0702g]。
0702 教室会議における学生の異動の状況と内容の全教員による把握。独自のポートフォリオ（既出）による全学生に対する毎学期の個人面談の実施。学科教員による学習支援室での化学基礎教育支援の実施。学科内での就職担当を組織、研究室ごとの就職状況調査を毎月行うことによる学生の動向の早期把握と全教員による情報共有。学科独自の就職キックオフの実施とその際、企業による就職説明会・研究会等の実施。学科独自の就職説明会、留学生向け就職研究会の実施。 [0702h]。
0702 学生の学習支援に関しては、主に指導教授が TORA-NET ポータルの学修ポートフォリオを活用し、学生の単位取得状況や出席状況等を確認し、留年しそうな学生や欠席が多い学生に対して適切な指導を行っている。 [0702j]。3年生の秋学期にキャリア支援課が主催するキャリア形成プログラムの他に就職内定者の就職活動報告や企業で活躍するOBの講演会など学科独自のイベントを実施した [0702k] [0702l]。
0702 (2) 成績不振の学生の状況把握と指導、留年者および休学者の状況把握と対応、退学希望者の状況把握と対応については、教務支援課、学生支援課からのデータに基づいて適切な指導を行っている。退学者数の減少により、その成果は確認される [0702p] [0702q]。学生の能力に応じた補習教育、補充教育、正課外教育、留学生等の多様な学生に対する修学支援、障がいのある学生に対する修学支援については、学科としての対策はなく、教員の個人的な活動のレベルである。(4) 学生の相談に応じる体制の整備、ハラスメント防止のための体制の整備および啓発活動、心身の健康維持・増進および安全への取り組みに関しては学生相談室と連携して対応している [0702r]。生活支援面においては奨学金の推薦書の作成レベルにとどまっている。(5) 学生のキャリア支援を行うための体制の整備、進路選択に関わる支援やガイダンスの実施、キャリア支援講座などの実施については学科独自の対策が採られており、高い就職内定率で成果が確認される [0702s、0702t、0702u]。(6) 授業としてのインターンシップ科目受講、企業からの個別のインターンシップ情報を学生に提供して参加を促している。具体的な数字として把握されていない。
0702 対象科目を制限しない学習支援室を電子情報工学科と共同でPSHの時間に開室している [0702v]。チャレンジサイトの制度を活用して、学生の自主的な正課外活動を支援している [0702w] [0702x]。様々な学生に対応するため、英語やフランス語が堪能な教員、男性・女性教員、企業や研究所での経験のある教員など、バラエティに富んだ教員が協力して教育研究活動を行っている [0702y]。成績不振の学生については、状況をTora-netにて把握し、指導教授を中心に指導を行うと主に、学習支援室にて補習指導を行っている。留年者は指導教授を中心に状況を把握すると共に、教授会にて確認が行われている [0702z]。休学者は休学申請時に指導教授が面談を行い、復学にあたっては指導教授が面談を行っている。学科の状況はTora-netにて把握している [0702A]。退学希望者は指導教授が面談を行い、状況を教室会議や学科教員のメーリングリストなどで情報共有している [0702B]。学生の相談には、学生ごとに専任の指導教授を1年から3年まで原則として変更せずに担当して相談にあたる。4年次には卒業研究室配属先の教員を指導教授とする予定である。学生のキャリア支援の一環として、1年次のスタートアップセミナーや宇宙航空理工学概論にて、宇宙航空産業に関連する企業の方に多数講演をしていただいている [0702C] [0702D]。また、2年生の秋学

<p>期からは工場見学や工場実習 A、B にて企業を訪問したり、インターンシップを経験させる。3 年生では特別講義にて、企業の方々に講演をいただく予定である。学生の自主活動を支援するため、チャレンジサイト制度を利用して2つの活動を行っている[0702w][0702x]。また、今後は他の活動希望が学生から来ており、順次、対応していく予定である。学生の活動を広報するために、1 年生向けに活動報告、勧誘の会も催した[0702E]。 0702 これらの学生支援の取り組みは、各学科会議で点検、検証されている[0702j6]。</p>	
<p>長所・特色 &lt;箇条書き&gt; *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの</p>	
項目 No. 0702	各学期はじめの学年別の個人面談の実施[0702a]。
項目 No. 0702	将来目標の設定[0702b]。
項目 No. 0702	PSH の時間帯にて当番教員が学生の質問などに対応
項目 No. 0702	学科公認の同好会、電気工事士資格講座を設置
項目 No. 0702	学科独自の就職キックオフ・企業説明会、研究会の実施。[0702i]
項目 No. 0702	学科独自の就職状況調査票を活用した就職支援。[0702i]
項目 No. 0702	1 年生の春学期に開講されるスタートアップセミナーでは、30 人程度のクラス担任を配置し、TORA-NET ポータル の出席情報で出席状況を共有すると共に受け持ちクラスの学生について可能な範囲で個別指導を行っている[0702m]。
項目 No. 0702	(機械工学科)キャリア委員会理系分科会において大手企業に就職を目指すチャレンジ就活生を各学科から数名募集し、企業研究講座や試験対策講座、面接対策講座など特別講座を開催している [0702n] [0702o]。
項目 No. 0702	(2)退学希望者の保護者との面談においては、教員が 2 名で対応する体制を学科として基本ルールとしている。(5)学科独自の就職サイトの開設、学科独自の就職ガイダンスの実施、企業から 6 名の特別講師を招聘して就職に役立つ講義を提供している。
<p>課題事項 &lt;箇条書き&gt; *改善すべき点、向上すべき点</p>	
項目 No. 0702	個人面談結果、設定した将来目標についての教員間での情報共有の徹底とよりの確な支援
項目 No. 0702	学生の多様化に対応するための補習教育・補充教育について具体的に検討していくべきである。
項目 No. 0702	退学に直結する「プログラミングにおけるつまづき」、「実験レポートの作成力の不足」に対する補習教育、補充教育の実施。

### 3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果(【留意点】等)への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

#### <改善・向上の進捗状況>

<p>対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない</p>	
0702	学習支援、就職指導に反映するため、2018 年度より、1 年次のスタートアップセミナー、3 年次の部門創成 A の講義に際して、学生に将来目標の設定を求めることとした。
0702	プログラミング学習支援、レポート作成力向上のための学科独自の学習支援室の開設を検討している。

#### <今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策 (到達目標を含む)
0702	個人面談結果、設定した将来目標についての教員間での情報共有の徹底とよりの確な支援。
0702	補習教育・補充教育の具体的な方法について検討する。

#### 4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0702	a	(都市建設工学科)個人面談結果	B
0702	b	(都市建設工学科)将来目標の設定	B
0702	c	(電気システム工学科)質問の時間 (学生へのアナウンス資料)	B
0702	d	(電気システム工学科)就職ガイダンス資料 20181219	A
0702	e	(電気システム工学科)工学部電気システム工学科教育課程 2017 年度学生便覧	A
0702	f	(電気システム工学科)同好会会員募集	A
0702	g	(電気システム工学科)H30 年度講習会開催案内	A
0702	h	(応用化学科)2018 JABEE 受審 (文章編) 応用化学スペシャリストコース	B
0702	i	(応用化学科)学科教室会議資料	B
0702	j	(機械工学科)TORA-NET ポータル	A
0702	k	(機械工学科)就職活動報告会参加のお願い	B
0702	l	(機械工学科)2019 機械科 OB 講演会案内	B
0702	m	(機械工学科)2018EM スタートアップ実施要領	B
0702	n	(機械工学科)2018 チャレンジ就活 概要	B
0702	o	(機械工学科)2018 チャレンジ就活 日時・詳細	B
0702	p	(情報工学科)2017 年度, 2018 年度 面談記録、指導報告書	B
0702	q	(情報工学科)中部大学webサイト・データでみる中部大学：退学・除籍者数除籍者数	A
0702	r	(情報工学科)スタートアップセミナーでの講義実施の時間割資料	B
0702	s	(情報工学科)学科独自のガイダンス実施 実施記録	B
0702	t	(情報工学科)企業情報システムと倫理 の外部講師のデータ 教務支援課への提出書類	B
0702	u	(情報工学科) <a href="https://www3.chubu.ac.jp/attach/facts_figures/data/3-09.pdf#page=1">https://www3.chubu.ac.jp/attach/facts_figures/data/3-09.pdf#page=1</a>	B
0702	v	(宇宙航空理工学科)学習支援室のおしらせ	A
0702	w	(宇宙航空理工学科)チャレンジサイト スペースガールズ	A
0702	x	(宇宙航空理工学科)チャレンジサイト 中部大学発の超小型衛星で宇宙を目指せ!	A
0702	y	(宇宙航空理工学科)教員概要	A
0702	z	(宇宙航空理工学科)教授会資料(2019年3月14日)	B
0702	A	(宇宙航空理工学科)Tora-net 学生状況	B
0702	B	(宇宙航空理工学科)退学者状況共有メール	B
0702	C	(宇宙航空理工学科)スタートアップセミナー	A
0702	D	(宇宙航空理工学科)宇宙航空理工学概論	A
0702	E	(宇宙航空理工学科)活動報告会	B
0702	F	各学科会議議事録	B

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学部
--------	-----

**基準 8 教育研究等環境**

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0802	教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地および校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設および設備を整備していますか。	(1)教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実を図っていますか。	B
0806	教育研究等環境の適切性について定期的に自己点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切な根拠資料に基づく自己点検・評価を実施していますか。	C
		(2)自己点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0802 工学部主任会において、学長ヒアリングを受け、施設・設備の充実に向けた検討を依頼している。また教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた各専攻での施設・設備に関する点検を行っている。また、ものづくり工房を整備し、運用を開始した[0802a] [0802b]	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 802	ものづくり工房の整備[0802b]
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 805	教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の更なる充実。
項目 No. 806	教育研究等環境の適切性についての定期的な自己点検・評価とそれに基づく改善。



### 3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
0802	工学部主任会において、工学部共通、および各学科での施設・設備に関する点検整備の取り組みを行っている[0802a]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
0802	既存施設の点検と、それに基づく老朽化施設、設備の計画的更新およびものづくり工房などの新規整備。
0806	教育研究等環境の適切性についての自己点検・評価とそれに基づく改善の推進。

### 4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0802	a	工学部主任会議事録	A
0802	b	ものづくり工房紹介	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学部
--------	-----

**基準 9 社会連携・社会貢献**

1. 自己点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0902	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していますか。また、教育研究成果を適切に社会に還元していますか。	(2) 社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
		(3) 地域交流・国際交流事業への参加などに取り組んでいますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0902 積極的に学会活動を行っているほか、多くの教員が企業との共同研究を推進している。その実態は大学教育研究センターから発刊（部外秘）されている。また、COC、COC+事業に積極的に参加し、地域に貢献する研究活動を行うとともに、地域創成メディアーターの取得を推進している。[0902a] [0902b] [0902c] 学科科目をオープンカレッジに開放している。[0902d] 高校生向けのロボットコンテストである中部大学学長杯争奪 CU-Robocon を継続的に実施している。[0902e] 国際交流に関しては、さくらサイエンスプラン、JICA 産業技術研修を実施している。特にさくらサイエンスプランについては、大学院における中国人留学生の増加の一端を担っている。また、産学官国際連携フォーラムに協力し講演を行った。さらには、インド工科大学との部局交流協定を全学交流協定に更新、研究インターンシップの学生受け入れを実施した。学科毎の特性を活かし、現地での実習を含めた海外研修を行っている。[0902f] [0902g] [0902h] [0902i] [0902j] 社会人向け教育として勉強会を開催し、学生の参加も促している。[0902k] これらの社会連携、社会貢献の適切性や効果は、各学科会議で点検、検証している。[0902l]	
長所・特色 < 箇条書き > *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0902	COC、COC+に基づく学生による学内資格の取得の推進している。 [0902a] [0902b] [0902c]
項目 No. 0902	国際交流提携を推進、学生の受入に積極的に取り組んでいる。[0902i] [0902j]
項目 No. 0902	CU-Robocon の開催に先立ち、初心者向けの講習会を実施。大会前日には試走会を実施。[0902e]
項目 No. 0902	社会人向け教育活動。[0902k]

課題事項	《箇条書き》 *改善すべき点、向上すべき点
項目 No. 0902	教員が個別に実施している地域貢献活動に関する情報の相互共有
項目 No. 0902	オープンカレッジの受講者が例年少ない点が危惧されている。
項目 No. 0902	国際交流や研究活動への取り組みが一部の教員に偏りがある。

### 3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組	*成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない
0902	学期はじめのオリエンテーション等で学生に対して、地域貢献活動を通じて学内資格を取得するよう推進している。
0902	各教員、それぞれの関係学会で研究発表や学会組織運営を積極的に行っている。
0902	教育研究活動への取り組みを全教員が活発に取り組むようにする。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
No. 0902	教員が個別に実施している地域貢献活動に関する情報の相互共有
No. 0902	オープンカレッジの受講者数が増えるように科目の魅力を知ってもらう方法を検討する。
No. 0902	教育研究活動を WEB、SNS を通じて積極的に発信する

### 4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0902	a	教育研究の実態資料調査報告書掲載項目	A
0902	b	地域創成メディアーター学生発表会	A
0902	c	COC 報告書	A
0902	d	オープンカレッジ開講科目	A
0902	e	中部大学学長杯争奪 LEGO ロボットコンテストポスター	A
0902	f	さくらサイエンススケジュール	A
0902	g	JICA 産業技術研修スケジュール	A
0902	h	国際産官学連携フォーラム	A
0903	i	インド工科大学との協定書	A
0902	j	インド工科大学からの学生受入	A
0902	k	研究会案内	A
0902	l	各学科会議議事録	B

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2019 年度（対象年度：2017～2018 年度）自己点検・評価シート

自己評価組織	工学部
--------	-----

**基準 11 大学独自の評価項目**

1. 自己点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが長所・特色となっている」「B：概ね取り組んでいるが、若干改善すべき点がある」「C：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、定期的に業務内容の点検を行っていますか。	(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120	工学部教授会、主任者会、各種委員会で必要に応じて教育研究活動の検証を行うとともに、適切に議事録を作成している。[1120a]、[1120b]。
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 1120	特になし。
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *改善すべき点、向上すべき点	
項目 No. 1120	特になし。
項目 No.	

3. 改善・向上に向けた取り組み

前年度の自己点検・評価の評価結果（【留意点】等）への対応も含め、改善・向上に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<改善・向上の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない、前回の自己点検・評価シート作成時点での計画の有無を問わない	
1120	工学部主任会、各種委員会で必要に応じて教育研究活動の検証を行っている。[1120b]。

<今後の改善・向上計画>

項目 No.	課題事項と改善・向上方策（到達目標を含む）
1120	教育研究活動、管理運営に関する定期的な点検・評価とそれに基づく継続的な改善の推進。

4. 根拠資料

根拠資料 No.		根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
1120	a	工学部教授会議事録	A
1120	b	工学部主任会議事録	A

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料    B：現部署で保管